

# hino

Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

平成29年6月発行 no.17

## menu

- ・土砂災害から身を守る
- ・しいたけ栽培用ビニールハウスが活躍中！
- ・江府町ボランティアセンターと神奈川交流サロンの  
オープニングセレモニーが開催されました
- ・農薬の安全使用について
- ・イノシシ対策はお済みですか？ —電気柵設置の勘どころ—
- ・JR 上石見駅に日南町の歴史文化紹介パネルが設置されました！
- ・日野郡3町三色“たたらんち”がデビューしました
- ・日野川の源流と流域を守る会 イベント情報
- ・所長新任所感 日野の魅力と活力を感じながら
- ・伯耆国「大山開山1300年祭」

霧にかすむ奥大山ぶなの森（江府町）

鳥取県

# 土砂災害から身を守る

近年の地球温暖化に伴う気候変動により、局地的大雨（ゲリラ雨）が頻発しており、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。雨の多い季節を迎え、土砂災害の基礎知識として以下の内容を参考にいただくと幸いです。

## 1. 異常気象と土砂災害

近年は地球温暖化の影響を受けて局地的大雨（ゲリラ豪雨）が増えており、土砂災害が起りやすくなっています。

そのため、過去に災害の発生していない箇所でも起きたり、過去にない大きな規模の災害が起る可能性が高くなっています。

日野郡でも、平成25年7月には江府町江尾で時間87mmの豪雨を観測し、江府町久連では人家に土砂が流入するなどの被害が発生しました。



平成25年7月15日（江府町久連）

## 2. 土砂災害とは

大雨により、山や住宅地にある急な斜面が崩れ、また崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れてくることによって、人命が奪われ、家や田畑や道路が土砂で埋まる災害を土砂災害と呼んでいます。

土砂災害は、大きく3つに分類することができます。

### ① がけ崩れ

急な斜面が崩れることをがけ崩れといいます。大雨の時に、一瞬のうちに起こることが多いため、家が壊れて、逃げおくれで亡くなる人が多いのです。



### ② 土石流

土石流というのは、山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒に、ものすごい勢いで流れ落ちてくるものです。



### ③ 地すべり

地すべりは、斜面が広い範囲にわたって動くものです。家や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きます。



## 3. 土砂災害から身を守るために

### (1) いつ危険なのか

土砂災害の危険性がきわめて高くなった時に発表される土砂災害警戒情報を知っておきましょう。

土砂災害警戒情報はテレビ・ラジオ・携帯電話・インターネットなどで広く多くの方へ情報提供されています。また、あんしんトリピーメールで自動受信したり、ケーブルテレビでも確認できます。

### (2) どこが危険なのか

鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を土砂災害警戒区域（イエロー区域）として指定しています。町から配布されている土砂災害のハザードマップを確認し、日頃から身の周りの危険な場所を確かめておきましょう。

## 4. 土砂災害から守る施設

土砂災害から人命や財産を保全するために様々な対策工事を行っています。しかし、土砂災害の可能性がある箇所が到るところにあるため、それら全部に土砂災害を防ぐ施設をつくるには、長い時間と膨大な費用を必要とします。土砂災害から身を守るには、まずは危険なところから避難することが重要です。



砂防えん堤



擁壁・法枠

## 土砂災害のまえぶれ

土砂災害では、発生する前に前兆現象（まえぶれ）があるといわれています。もし、それらの現象に気がついたときは、できるだけ早く安全な場所に避難しましょう。

### ① がけ崩れ

- がけにひび割れができる。
- 小石が転がり始める。
- 樹木の異常な音がする。
- がけから急に水がわき出る。
- 異常な臭いがする。



### ② 土石流

- 川が濁り、樹木（なまの木）が流れる。
- 雨が降り続けているのに、川の水が減っている。
- 山鳴りが聞こえる。
- 異常な臭いがする。



## 大雨注意報

大雨による災害に注意を呼びかけます

## 大雨警報

重大な災害の恐れがある場合に警戒を呼びかけます

## 土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害の恐れがさらに高まった場合に一層の警戒を呼びかけます

気象情報・防災情報の収集と土砂災害の前兆への注意



避難の準備



安全な場所への避難



## 農薬の安全使用について

農薬を使用する機会が増える6～8月は、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、国の農業危害防止運動月間となっています。

農薬は、農薬取締法等の法令により、人や家畜への害が無い範囲を作物残留などの基準として定め、この基準に基づいた使用方法（対象作物や病害虫、使用量や希釈倍数、使用時期や回数など）が決められています。不適切な使用をすると、その作物は出荷不能となってしまいます。そのため、農薬を使用する際には、農薬ラベルや、最新の農薬登録情報を確認し、使用方法を必ず守るとともに、散布した農薬が周辺の圃場や作物に飛散しないよう、風向きや散布量、止水管理等に注意して下さい。

さらに、農薬の中には、毒物・劇物に指定されているものがあり、人体への急性毒性が問題となることがあります。そのため、農薬散布は、長時間の作業を避け、マスクやカッパなどを着用して朝夕の涼しい時間帯に行い、散布後には身体をきれいに洗うなど、自身の安全確保にも留意しましょう。また、農薬は専用の保管庫等に施錠して保管しましょう。

問 日野振興局 日野農業改良普及所 電話：0859-72-2026 FAX：0859-72-2090



農業危害防止運動啓発ポスター

## しいたけ栽培用 ビニールハウスが活躍中!



鳥取型低コストビニールハウス

平成29年3月号では、ビニールハウスの中で、原木しいたけ（115号菌）が発生した様子をお伝えしましたが、今回は、ビニールハウスの役割がしいたけを発生させ、収穫するだけではないことをお伝えします。

生産者は冬の寒い時期、クヌギやコナラなどの原木に植菌していますが、天候を気にすることなく快適に植菌する



ハウス内の仮伏せ

ことができる作業場としてハウスを利用しています。

また、植菌した原木をハウス内に一時的に伏せ込めば（仮伏せ）、冷たい外気から保温して、しいたけ菌を確実に活着させることができます。

春になり、ハウス内の温度が上がってくると、裾を開閉して生長適温に調整するとともに、乾燥しないようスプリンクラーで散水します。

5月中旬から6月の梅雨にかけて菌糸がほだ木の中に伸長したのを確認した後、風通しの良い伏せ込み場に移します。

こうして、暑い夏を涼しい林内で過ごし、菌糸が蔓延したほだ木は、冬前に再びハウス内に運び込み、「鳥取茸王」のような立派なしいたけを発生させることとなります。

沢山の手間をかけ、育てられた美味しいしいたけが、今から楽しみです。

問 日野振興局 農林業振興課 電話：0859-72-2018 FAX：0859-72-2125

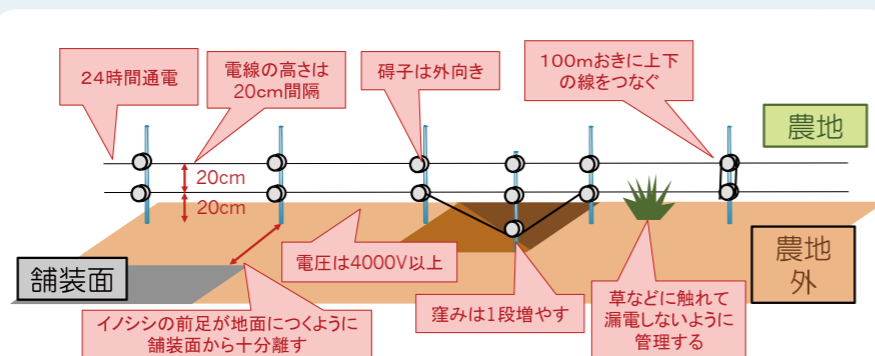
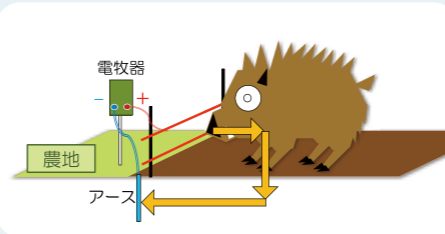
## イノシシ対策はお済みですか? —電気柵設置の勘どころ—

今年は3月頃から田んぼの畦畔や法面のイノシシによる掘り返しが発生しています。春先に被害があった農地は、秋にまた被害が発生することがあります。イノシシの記憶は半年くらい保持されるので、春先に「おいしい」思いをしたことを覚えているのかもしれません。

さて、そんな記憶力の良いイノシシは、身の危険を感じる「痛い」思いもしっかり覚えています。痛い経験を覚えさせて農地への侵入を防ぐ道具が「電気柵」です。ただし、イノシシは硬い毛で覆われており、ほとんど電気を通しません。通電するにはイノシシの鼻が電線に、足の裏が地面に触れている必要があります。

非常に防御効果の高い道具ですが、電線を張った日から電源を入れなかったり、昼間は電源を切っていたりなど、電気を流していない時にイノシシが電線に触れた場合、ただの「邪魔な線」なので、簡単に潜り抜けます。恐ろしいことに、一度潜ったイノシシは次から電線を確認することなく潜るので、道具の効果はなくなってしまいます。

安全面にも十分にご留意の上、設置の基本をしっかり守って、農地を守って下さい。



問 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399

## 江府町ボランティアセンターと神奈川交流サロンのオープニングセレモニーが開催されました



江府町ボランティアセンター（江尾）

4月14日（金）「江府町ボランティアセンター」と「神奈川交流サロン」のオープニングセレモニーが、江府町の影山副町長、日本財団の木田所長等の関係者が出席して開催されました。

これらの施設は、江府町と日本財団が中山間地域

問 日野振興局 地域振興課 電話：0859-72-2080 FAX：0859-72-2072

の生活支援モデルとして共同で取り組んでいる「江府町生涯住み続けられるまちづくりプロジェクト」の活動拠点となるものです。

江府町ボランティアセンターは、江尾駅前に整備され、交流サロンとしての機能に加え、まちづくりに関わる人材やボランティア育成の研修施設としての機能を備えています。

神奈川交流サロンは、買い物のついでに気軽に立ち寄れるよう、武庫駅前の店舗の一角を改修して整備されました。

江府町ではこれらの施設を地域の拠点として、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていくこととしています。



神奈川交流センター（武庫）

## 日野川の源流と流域を守る会 イベント情報

日野川の源流と流域を守る会では、「日野川流域の住民一人一人が源流と流域の恵まれた自然環境を守り、子どもたちに美しい日野川を引き継ぐ」ことを理念に掲げ、流域で暮らす方々や地域の子どもたちに日野川流域の自然、歴史、生活文化などに触れて体験してもらうことを通じて、美しい日野川を守り育てていく意識を醸成するために様々なイベントを実施しています。

※イベントの日時、内容は変更される場合があります。会員以外の方も参加できます。

### 1 日野川写真塾&境漁港水揚げ見学

境漁港で魚の水揚げを見学した後、日野川流域で写真撮影勉強会を開催します。

- 開催日 6月24日(土)
- 場 所 境漁港、日野川流域
- 定 員 20名



### 5 日野川源流探訪

専門家の自然解説を受けながら、日野川源流の碑を目指して散策します。

- 開催日 9月23日(土)
- 場 所 日南町新屋
- 定 員 50名



### 2 日野川一斉清掃&海岸植物等観察会

日野川一斉清掃に参加した後、河口・海岸付近の植物等の学習会を開催します。

- 開催日 7月2日(日)
- 場 所 日吉津村  
日野川河口付近
- 定 員 60名



### 6 日野川ラフティング体験

日野川でラフティング(川くだり)体験と自然観察会を開催します。

- 開催日 9月末~10月上旬
- 場 所 日野町黒坂付近
- 定 員 20名



### 3 日野川の自然環境と希少生物を守る体験

専門家によるオオサンショウウオ生態調査の見学と水生生物調査を行います。

- 開催日 7月中下旬
- 場 所 江府町又は日野町
- 定 員 学校単位  
(一般参加不可)



### 7 外来植物除去活動&わくわく自然体験

秋の大山一斉清掃に参加し、セイヨウタンポポ等の除去ボランティア作業と植物観察会等を開催します。

- 開催日 10月15日(日)
- 場 所 江府町鏡ヶ成
- 定 員 60名



### 4 日吉津海岸クリーン作戦

日吉津海岸の一斉清掃「海岸クリーン作戦」に参加します。

- 開催日 8月27日(日)
- 場 所 日吉津村日吉津海岸
- 定 員 なし



問 日野川の源流と流域を守る会事務局  
(日野振興局 地域振興課内)  
担当：山本・雨宮  
電話：0859-72-2080  
FAX：0859-72-2072

## JR 上石見駅に日南町の歴史文化紹介パネルが設置されました!

地元の人や観光客に日野郡の「たたら」の歴史に対する理解をさらに深めてもらうため、「日野軍★みらい創生デザイン会議」によってJR上石見駅に地元の歴史文化を紹介するパネルが設置されました。パネルの設置は上菅駅に続き2駅目です。上石見駅は日南町石見地区と福栄地区の最寄り駅で、パネルにはたたらを歴史をはじめ、大国主命の再生神話、孝霊天皇の鬼退治、縁起の良い名の神社(福成神社・福栄神社)、井上靖の疎開地といった話題が解りやすくまとめられています。

「日野軍★みらい創生デザイン会議」では、今後も日野郡内の無人駅を利活用して、たたら遺跡や神社仏閣などの観光資源を結ぶ等、地域の玄関・拠点として来訪者を受け入れるための取組みを進められます。日野郡全域でづくりや交流促進、活性化が図られることを期待しています。



※詳しくは「日野軍★みらい創生デザイン会議」までお問い合わせください。

問 〒689-4503 日野郡日野町根雨 228-1 電話：0859-72-0202

## 日野郡3町三色「たたらんち」がデビューしました

日野郡自慢の食材を使って、日本古来の製鉄法「たたら製鉄」をイメージした新・ご当地グルメ「たたらんち」が誕生しました。

日野郡広域交流促進協議会が日野郡の交流人口の増加を目指して開発を進め4月29日にデビューし、日野郡内の7店舗で販売が開始されています。

みなさんに「たたらんち」の感想を聞いてみたところ、「ジュージューとたたら製鉄の熱を感じます。」「旬の野菜がふんだんに使われていて、見た目も綺麗でヘルシーです。」など、たいへん好評です。

同協議会では、今後は大山開山1300年祭の期間限定バージョンなどの開発にも取り組まれる予定

です。広くみなさんに愛される日野郡のご当地グルメとして成長し、地域が活性化していくことが期待されます。



問 日野郡広域交流促進協議会事務局(日野振興局地域振興課内)  
電話：0859-72-2082 FAX：0859-72-2072

## 日野の魅力と活力を感じながら

皆様はじめまして。この4月に所長に就任しました越智と申します。日野での勤務は初めてですが、山々や清流の織りなす雄大で心が癒やされる情景や、深い歴史を感じさせる街並みと集落に囲まれて仕事のできる喜びを心一杯に感じていきます。

着任して各方面の皆様からお話を聞かせていただく中で感じたことが、人口減少と高齢化の大きなうねりの中で、町を中心とした関係者の皆様が、地域の個性や立地条件を考えながら様々な取り組みを自然体でありながら力強く推し進められていることです。

数年前に日本創生会議が「消滅可能性都市」を発表し、日本中に大きな驚きと危機感の激震が走りました。人口減少は地域の活力そのものを奪いますが、その克服は容易ではありません。当地では、住み続けやすい地域づくりに向けて、安心して子供を産み育てるための家庭内外での子育ての支援、



日野振興センター所長  
越智 浩明

コンパクトに機能を集約させたエリアと周辺部との人や物の循環、買い物や通信環境等の生活利便性の向上などの施策に取り組み、また、定住の必須要件である働く場の確保に向けては、基幹産業である林業の収益力の向上や将来の担い手の育成、農業の6次産業化やブランド力の向上など様々な施策が展開されています。当センターも関係者の皆様との連携を強化して力を尽くしてまいります。

一方で、人口減少や高齢化は全国的に進展し不可避な部分もあります。そういった状況下でも、地域の賑わいや活力を維持していくためには「交流人口」がキーワードになるのかもしれない。来年は大山開山1300年祭が開催され多くの県外客が訪れますので、日野3町に人を引き込む流れを作る好機でもあります。全国に誇る「たたら製鉄」の歴史文化や清純な水の育んだ素晴らしい食材など、日野の魅力を積極的に発信して、多くの人に訪れてもらう仕組みを作っていくことも大切だと考えています。

日野の大きな魅力は、穏やかで温かい住民の皆様が醸し出す「居心地の良さ」だと感じています。日野振興センターは皆様の想いや知恵をお借りしながら、一緒になって頑張っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

## 伯耆国「大山開山1300年祭」



大山寺本堂



大神山神社奥院

鳥取県の名峰「大山」が2018年に開山1300年を迎えるにあたり、大山山麓地域の自治体、観光、経済団体等官民が一体となって、伯耆国「大山開山1300年祭」を展開します。

～大山さんのおかげ～

### 「大山」の恵みを感じるプロジェクト

日本はじまりの地「大山」の不思議と、「地藏信仰」「日本刀」と「たたら」をテーマに人々の祈りの軌跡と歴史、古代ロマンの憧憬を探訪するプロジェクト

### 緑のプロジェクト・星取県プロジェクト

澄んだ空気と水がもたらす美しい緑と夜空を媒介に、大山のエコロジカルな楽しみ方を満喫するプロジェクト

### 水と食プロジェクト

大山のもたらす清らかな水と新鮮な食材をふんだんに使った大山料理プロジェクト

### 大山の開山

奈良時代の養老2年(西暦718年)出雲の国玉造りの人で依道(よりみち)という方によって開かれたと伝えられています。

#### 【説話(エピソード)】

依道がある日、金色の狼を追って大山に入り一矢にして射殺さんとすれば、矢の前方に地藏菩薩が現れ、依道に信心の心がにわかになり弓矢を捨てました。

狼はいつの間にか老尼と化し依道に話しかけました。この出来事により依道はすみやかに出家、仏道の修行をしこの山に地藏権現を祀りその名を金蓮(きんれん)と改めたと大山寺縁起(大山寺に伝わる伝承集)に記されています。



伯耆国「大山開山」1300年祭

公式HP <http://www.daisen1300.org/>

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会事務局 電話：0859-31-9371 FAX：0859-31-9368